

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	介護度には現れない利用者の重度化(身体面・認知機能面・その両方)により、スタッフの負担感・疲労感が大きくなってきている。特にシフト上、日勤者1名となる時間帯の負担が非常に大きいと判断している。	①日勤者1名となる時間帯の解消。 ②利用者の重度化対応。	①について ・GHの垣根にとらわれず、施設として併設事務所も含めた、応援体制の構築。 ・夜勤者の勤務時間帯・業務内容の見直し。 「②」の課題については、事項にて。	3ヶ月
2	33 (12)	ご家族に「ここで見てもらいたい」との思いを最優先にした結果、身体機能が極端に低下した利用者さんも、次の施設を考える事なく、種々支援を行ってきている。その結果、利用者同士の交流チャンスの減少・スタッフの負担増となってきた。	①共同生活(利用者さん個々が役割を持つ)が円滑に運営でき、利用者さんの意欲向上・交流機会が増える。 ②スタッフと協業ができるよう、利用者さんの心身機能を維持する。	従来以上に、以下の事を重点的に取り組む。 ・日常生活の中で、利用者さんにできる事を常に意識して探し、その人の役割としてやりがいを持ってもらえるよう努める。 ・レベル低下の兆候を早期に掴み、適切な機能訓練を実施する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。